とかち新聞
主筆 松山明
(発行所)北海道足寄郡足寄町 とかち新聞社 電話255[1]番
毎旬5の日発行　1部70円1カ月200円　1カ年前納2,000円

しまらない池北線の道議選対策

まさかと思われていた長谷川義信氏の道議選出馬断念によって空白となった形の池北線保守派の道議選対策はどうなる?―。

長谷川氏の場合は予期しなかった声帯の異常によってイザ選挙となって演説が動きのつかないようにしたできないのでは―目下上京治療中ですが、かりに経過がよくて健康をとり戻したとしても時日が迫っており、不確定要素をかかえた形で前回のように朝昇氏がドタン場になって不出馬となって池北線の保守陣営を動きのつかないようにしたことからも、私が出なければ足寄から出るという話しもあるし―と長谷川氏は語っていました。

本別町では四十七年一月二十日の議員協議会で水元町長から「本別から道議を出るのやら、なんともしまりのない状態。

いずれも公付の席上でのそれぞれの町のトップクラスによる池北線一帯の政治力強化への動きだけに、あと年二月二十七日の定期大会で道議候補に岡崎克雄氏の推薦を決定しておりながらその後尻切れトンボの形。

★町村前自治大臣がつきつぎ、堂垣内知事が十日間のうち四回も応援にいった旭川市長選は、それでも社会、共産、公明の三党が推した松本革新市長の勝利

★これによって明春の道知事選は三党の推す五十嵐拡三氏による革新道政の奪還か有望となってきたのは事実。

★堂垣内知事がダメだというよりも自民政治ではダメだという選挙民がふえていることは間違いなく、

国のうちそと

保守から革新へ

★物価上昇は天井知らず金権汚職は底無し沼のような現状を、これでもか、これでもかと念入りにみせつけられているのは、いずれにしても政治の方向は社会正義を基調とする社会党を中心とした革新政権へ。

足寄町でも四十八年一月二十四日の臨時町議会の議員懇談会で足寄から道議を立てることになり、候補の選考を小林町長と大滝議長に一任することにして、その後宇余曲折があって最終的には本年三月二十五日の議員協議会で大滝議長からこれで選考作業がおわったとして大野耕太郎氏を推薦大野氏から立起のあいさつがあったものの、こんにちに至っても本気で推すのやら出るのやら、なんともしまりのない状態。

いずれも公付の席上でのそれぞれの町のトップクラスによる池北線一帯の政治力強化への動きだけに、あまりにも粗末ななりゆきで、長谷川氏は健康上で止むを得ないし、岡崎氏は推薦を受諾したわけでもないとしても、大野氏の場合は三翠会(新沼旁雄会長以下自民党町議十七名)として自民党町議会に対して家族の諒解を得たのかどうか、資金の用意があるのかどうかなどを確かめたうえで推薦となっただけに、本人としては十勝郡部の定員減がとりやめとなって五名の現状維持がハッキリすれば立起の態勢をとるもようで、かりに公認にならなければ無所属で三十代の若さで全管内を駈けめぐって新風をおくる決意を示しています。

十日に帯広市でひらいた自民党十勝選挙区支部の役員会では、道議選の才一次公認の堀田穀、笹井望の両氏のほかもう一人の才二次公認として新得、清水、芽室の四支部から推薦の古川靖晃氏を申請することになりましたが、この役員会には本別、足寄支部の代表が出席していたものの異議なく決まったそうで、三年前から浦幌をふくめた池北線三町から是が非でも自民党公認候補を押し立てようと意気込んでいたのに〝長谷川氏コケたらみんなコケた〟といった格好の保守政党支部の在り方が問題。

足寄商工会青年部 十周年記念式典

創立十周年を迎えた足寄町商工会青年部(大沢信男一、松崎繁治氏、経営指導員の桑島武彦氏らに感謝状部長以下三十九名)では、十四日午前十時から足寄グリーンパークで記念式典をおこないました。

飯山十勝青年部長、小林町長、新沼商工会長、高橋OB代表らの祝辞があり、祝森啓容氏、功労者の(…)田亮佳夫、日景健治、松…電披露があって式をとじ、部長の式辞があって、来賓の谷野支庁商工労働課長、はじめ歴代部長の…

(高橋初代部長らに感謝状)

足寄町建設業協会では十七日に老人いこいの家で足寄市街老人クラブ(土田今吉会長)と足寄町母子会(桂さよ子会長)にたいして、自由にお使い下さいと、それぞれ二十万円づつをおくりました。

新柄婚礼衣裳
きものと帯は
㊏久保呉服店
足寄町 T二一四八

つづいて記念講演にうつりました。講師は現代ビジネスセンターの池田孝一氏で、「若き経営者の栄光と苦脳」と題して二時間半にわたって角栄経設社長、理研工業社長、三愛社長の成功談から三菱財閥の社員訓などを披露して感銘をあたえました(そのうちマスコミ批判の部分を別項に掲載)

このあと小林町長の乾杯で祝賀会に入りました。

〝テレビは貧乏人文明である〟

池田孝一氏の講演から

こんにちの物価高は世間の風潮が拍車をかけている点がある、経済原理もさることながら風潮も無視できないーというのは日本は世界でもっともテレビの普及した国だそうで、サテこのテレビはなんであろうか、私は貧乏人文明だと思う。チャンネルをヒネれば田中首相の顔も見え、野球のナイターも相撲の実況も三波春夫も水前寺清子も月の家圓鏡もドラマもなんでも見ることができる、しかしそれはあくまでも映像であるところがヨーロッパなどへいくとオペラ、バレー、読書、音楽会など生の文化を吸収している、私どもは寝ころんでなんでも見れて便利だが映像である、私の会社で昨年のいまごろ一番アピールした言葉はなんであるか調査したことがあるが、「チョッとだけよ」「あんたも好きねー」「三分間待つのだぞ」「おつとガマンの子である」「ヤア参った、参った」「そりゃ飲まないよ、飲んだ方がいいが」「違いがわかる人」そういう言葉がはやった。テレビのコーマシャルである、都会へいけばいくほど人は多いが心は孤独である。テレビから流れてくる情報をウノミにする、洗脳されなくなる、それは大変な事である。一番でいこう、チャンネルいろんな機能を求めようとする、デパートへいって学用品売場へいってみると子供の机が非常に高い、なぜ高いかといえばラジオがついている、時計がついている、カレンダーがついている、鉛筆削り器がついている、そういったことでものが高くなる、香水のついた消しゴムまで販売されている、時計にしても正確な時間がわかるのが一次機能であるのに、落してもこわれない耐震性、カレンダーつき、防水性となれば高くなる、そのようにひとつの商品にいろいろなものを求める、自分で創意くふうするのでなくお金を出せばなんでも買ってくれる、東京ダメ、大阪ダメ、地方へ行くと、東京の子供たちはデパートで昆虫を採取してしまう。

こんにちの商品は原価に関係なく値段がつけられて、十三万円もするカラーテレビの原価は四、五万円だろう、サントリーの二千二百円の原価はホンの四五百円だろう、資生堂化粧品の原価は一割五分か二割だろうといわれているが、なぜこんなものを買うのかといえば、我々が知らず知らずのうちにテレビ、ラジオ、新聞、雑誌で洗脳されていて、つまり巨大企業の信奉者となり商標を信じ込み、ニツサンなら安全だろう、サントリーならうまいだろう、ナショナルのテレビならよく写るだろう、資生堂やカネボウならキレイになるだろう、精工舎なら正確になるだろう―といつのまにか信仰してしまっている、盲目的に信じている評論家にしてもそうで、斉藤栄三郎なら面白いだろう、藤原弘達なら案晴しいだろう、ドクトルチエコなら面白いだろう、池田宗一、そんなヤツきいたことがないということになる、つまり内容でなく名前となる、これは経済は豊かになったもしれないが心の貧しさ未期的文明のあらわれではないかと思えてならない。

私どもはテレビをみてゲラゲラ笑っているのではなくて、もつと古典というもの、文学というもの、歴史というものを、こういったものを身近かに感じる必要があるのではないかと思えてならないのである。

庭石は道東随一の当会社へご用命下さい
有限会社 大浦造園 造園 土木 造林 造材 請負
庭石販売店 足寄町芽登 T五二
足寄有放 T二四六六

大自然のなかの人工美
―いで湯のふるさと―
観光と保養の 芽登温泉
足寄町芽登 T二八五五

㊐自動車 新津はなや
足寄町西三区 T二六二六
霊きゅう車 葬儀仏具一式 花輪 生花

カメラ 八ミリ 写真材料
上野カメラ堂
上野復興
足寄駅通り T二五二二

新畳 表替 中古畳 フスマ張替
二段ベッド 敷物一式 マットレス
小林畳店
小林幸三郎
足寄町大通り山口整骨院前 T二四二八

家具と建材
信用は最大のサービス
佐藤家具建材店
足寄駅前 電話二二二一番
技術と納期を誇る!
家具 建具 製造販売
住宅内装に新建材を!

お墓を新造、改造する方などお気軽にご相談下さい(無料)
ただし毎日18時から20時まで(日曜は随時)
吉相墓研究会
主幹 高本修司
足寄町中央五区 高本とうふ店 T二五〇五

マッカラー スチール 共立 チェンソー代理店
刈払機各種 電動工具 造林用具 打刃物類 (機械迅速修理)
有限会社 鈴木鋸刃物店
足寄町大通り T二三〇七